

【略】

○上村真造委員長 それでは、改めて、2. 議会の条例、規則等に関する事項についてを議題とします。

【略】

○上村真造委員長 次に、V-2 議会活動の基盤についてであります。会派届出順に御意見をお願いいたします。共産党さん。

○小原明大委員 はい。どういうふうに御意見を出せばいいのかなとわりと悩みながら来たんですけど、定数と報酬と政務活動費っていうことで非常にテーマが大きいので、まずやり方かなと思ひまして。これ、大変御苦勞いただいて調べていただいて本当にありがとうございます。こうやって見させていただくと本当にいろいろだなというのが率直なところでして、これをどう考えるかなんですけど、やっぱりこの定数・報酬・政務活動費を議論していこうと思ったら、数字をぼんっと出してさあ、どうするっていうような話ですと、どうしても交渉みたいになってきて、それぞれが議論してるその数字を出してきてる土台が違ってますんで、数字だけ出して論議するとどうしても交渉のようになってくるので、やっぱりそれぞれの会派の立ってる、土台で何をもとにこういう数字を言ってるのかっていう根拠の部分が大事でそれがどこまでが皆さんで一致してて、どこが違うんかっていうのが明らかになってくるのが大事かなということ思ひまして。報酬についてはすでに、報酬審議会の答申が出てますので、まずは、それを皆で見ながらそれへの意見を会派の意見を出し合っっていうことをしたらどうかなっていうのと、定数と政務活動費については不勉強で申し訳ないんですけど、何か共通認識できるような基本的なそういう見解というか論文といいますか理論的なもんがあるのかどうか。またあるんでしたらそういうものベースに各会派のまた考え方を議論してはどうかなというのが共産党としての意見です。以上です。

○上村真造委員長 輝さん。

○進藤裕之委員 もうだいぶ以前の状況で、26人から24人に議員報酬はそのままというような形で、これ議員報酬審議会の答申の結果がそうやったんですけども、定数については24人ほどにした当時、民主党の時代から我々は、この類団の議員定数、当時は22人やったと思うんです。ちょうど。7人かける3の常任委員会、プラス議長で我々は22人というのが長岡京市議会にとっては類団の状況をみても定数としては相応しいのかなっていうのは従来からの意見で変更はないです。た

だ、議員報酬はちょっと下がってるなっていうのが正直な感想でして、参考の京都府平均（市のみ）もこれ、京都市が入ってるんで、なんかたまたま45万ですけど、抜いてみますとだいたい41万2,692円っていうことなんで。ただ、そういいつつも似たような人口で亀岡市さんなんか44万ですし、八幡さんなんか47万のうちより高いですし、そういったところからいうと若干下げてもいいのかなと思いつつ、前回の議員報酬審議会の45万は別に下げる根拠もないっていうようなところで議員報酬については皆さんの御意見もまた、していかなあかんのですけどもちょっとくらい下げてもやぶさかじゃないかなというところが会派としての意見です。政務活動費についてはいろいろあるんですけども、うちの1万2,500円っていうのはほかの自治会の議会をみても妥当なところかな高くもなく低くもなく。今我々が使わせていただいている内容でいくと本当にきっちりした妥当な額やと思っておりますので、政務活動費については現状どおりがいいのかなと。ただ、議員定数はちょっと減ったときにはちょっと増やしてもいいのかなと。より充実した活動をするためにいうことを意見として申したいと思えます。以上です。

○上村真造委員長 平成市民クラブさん。

○三木常照委員 議員定数、議員報酬、政務活動費、これどうしても3点セットになると思えます。で、私らのほう側からその、なんていうんですか、議員報酬を上げてくれとかいうのは正直言えるものでもないし、皆さんの意見とか思いとかは別にしてですよ。ただ、その議員定数についても現行、2人下がって24人になってますけども、果たしてこのままで運営していくのか、なおかつ削って22人にするのかも含めて正直なところ、この場で全てをこう出すというのは正直難しいんで、小原委員おっしゃった論文とまでは言いませんけども、政務活動費についても議員定数についてもですね、この人口の平均で出したらわかるいうたらわかるみたいなもんやけども、データの、文書的なものがあれば、ちょっと、再度事務局のほうには御負担をおかけしますけども、そういうような資料があれば検討材料になるかと思うんで、できれば、おいおいしていただきたいなと、いうふうには考えています。

○上村真造委員長 なんの資料ですか。

○三木常照委員 議員定数とか。

○上村真造委員長 これじゃなくて。

○三木常照委員 これはちょっと。人口と議員定数と報酬を列挙してもらってるやつやねんけど、さっきもいうたなんでそれが妥当なのか。

- 上村真造委員長 根拠ですか。
- 三木常照委員 そうそう。考え方の資料みたいなのがあれば。
- 上村真造委員長 なんでこうなったかってことですか。
- 三木常照委員 そうそう。そういうなんをちょっと。例えば、議員定数をもっとふやせていうところがあるかもしれへんし、現状でええやんかっていうところもあるかもしれへんし、あと二人下げたらいいんちゃうとか。それは、各会派の御意見でいいと思うんですけども、この今の長岡京市の議会運営を回していくに当たって一番ベストに近いものがどうなんかっていう話。それと、政務活動費なんですけども、政務活動費の使用範囲ですね。これについてもお手数ですけども、よそのところの資料もあればあわせてお調べいただきたいなというふうには考えています。
- 上村真造委員長 何に使えるかってことですか。
- 三木常照委員 そうです。以上です。
- 上村真造委員長 うちですけど、公明党さん先。
- 山本 智委員 うち、前回提出26人から24人に2名減ったときの考えとほとんど、その流れで議員定数それから議員報酬、政務活動費につきましても現状維持でいいのではないかと考えております。
- 上村真造委員長 定数もですか。
- 山本 智委員 そうですね。どうしても議員改革という部分で、議員が多いだの報酬が高いだのっていうような市民感覚という部分はあるかとは思いますが、ここにもこの資料にも載ってるように各自治体によって本市よりも多かったり少なかったりっていうような部分もありますし、逆に本当に前もちらっと言ったかもわかりませんが、人口に関係なしに、議員いうたら皆さんたくさんもうてるっていうような漠然としたイメージを市民さんが持つてはるいう部分では、よそをみて変えてどうのこうのするよりも、長岡京市は今までずっとやってきた中でその中で市民さんに長岡京市はこうなんだという部分をね、もっと広く知ってもらうほうがいいんでなかろうかと思えます。定数についても減らすことが改革やいうことをよく言われますけど、やっぱり一人一人の議員の減るゆうことは、その分市民さんの声が吸い上がってくる確率が下がっていくゆうことも考えられますので、公明党としては現状維持でと考えております。
- 上村真造委員長 平成自由クラブさん。
- 八木 浩委員 前回も、いろいろと個人個人でいろんな意見が出る中で議論してき

ましたし、今回もこの3点セット、皆聞いたら、いろんな会派3人ではあるものの意見は出ます。出るけども、結果としては現状維持だと。例えば、常態化していつてるんですよ。私が入った20数年前の議会と今の議会っていう職務の仕事量っていうか日数的な部分も含めてね。やっぱり報酬なんやけど、給料に近い職務になってきてるっていうことがね、国は認めてくれへんけどもその位置づけに近づいていつて議会としても、全国市議会議長会とおして給料にしてねという要望はしてきたわけやけど、なかなかそこまでいかへんという。だから、報酬のままなんですかとその訴えていかなあかんと思いますし。これ市町村で言いますと、例えば、精華町やったら、精華町どこやったかな。

○上村真造委員長 精華町下から二番目。

○八木 浩委員 精華ちゃうわ。

○上村真造委員長 市ですか。

○八木 浩委員 笠置町か。

○上村真造委員長 笠置町か。

○八木 浩委員 笠置町で1, 278人で8人か。南山城村2, 659人10人。ほかの市町村のことをどうのこうの言うてはいかんのやけども、実際その数字の人数で、いけば200なん人の代表やねんな。顔が見えるくらいの代表やん。やっぱり必要やっということがあるわけやから、幅広くやっぱり声が見える範囲で。どこまで見えるんやいうたらあれなんですども、ある一定、今の私ら昔から言われたようにいろんな情勢によってあるけれども1, 000票やっという目安に戦っていきますわね。ただ、そこの声を聞きながらっていうそういう事から思えば今現状ではいいのではないかと思います。

○上村真造委員 平成西山クラブなんですけども、議員報酬に関しては、報酬審議会等々に委ねるべきだというふうにも思います。政務活動費につきましてはやはり各会派、会派に属さない部分も含めて収支というか、決算してますよね。決算いうか締めてますよね。それによってどういう使い方をされてるかっていうのがそれぞれわかると思うんで、それによって適切な金額。使ってれば適切ですし、余ってればどうなんかな。人も限られてるっていう部分。さっき、三木委員もおっしゃったようにどういう形の部分で使えるのかっていうのが、なかなか制限がかなり厳しい中で政治活動っていう部分で、どういう使い道があんのかっていうのをなかなか皆さん、まあ、新しい方も多いで理解をされてなく、結局はこれを使わずしてやって

しまったとか。それについても決算を見て適切であるのではないかなというふうにも思います。定数については資料出していただけてますけれども、やはり人口、面積も大事なことやと思うんで、やはり、人口だけではなく面積。今、京丹後市が選挙されてると思うんですけども、やはりあっからは今回20人という定数らしいです。これには22人と書いてありますけども、20人でやられてるみたいなんです。一日事務所に帰ってこれないっていう面積の広さ等々も勘案しますとね、一概に人口が多いから、少ないからといって定数を決めれるわけではないというふうに私は個人的にはそういう思いです。だから、今の24人がいいのかと言われれば、それも私個人としてはわかりません。何をもって適切なのかっていう。今、八木委員もおっしゃったように200人で一人。例えば、本市であれば3,000人ぐらいですかね。3,000人に一人。ただ、京丹後市であれば人口的には7万5,000人ですか。

○八木 浩委員 5万4,000人。

○上村真造委員 ごめんなさい。5万4,000人。で20人。それかて、極端に言うたら人口割でいうたら2,500人強。あそこは面積が。亀岡も一緒ですけども、面積が広いんで、やはり人口が少ないから減らさなあかんとかいうのは一概には言えないと思うんで。これは、答えにはなっていないかもわかりませんが、なかなかこれは難しい問題ではないかなと思います。で、過去のその今、進藤委員もおっしゃったように過去見れば、前回26人から24人になったときも平成会派としては4人減らして22人という意見が出てました。だけどこれだけ、平成も、平成もっていううちの会派ですね、大部屋としても残ってるもんも少なくなってます。入れ替えが起こってる中でそれが今までの維持すればいいのかどうか現状のままでいいやんという答えのほうで圧倒的に多い大部屋になってます。その辺も含めて何が適切かどうかっていうのは申し訳ないけどわかりません。前回かって、前は結局、請願等々が出てきた中での動きであったので、それがちょっと議員の中で決められなかったっていうのも事実ですしね。その辺も含めて次の選挙までにやっぱり答えを出していかなあかんのかなっていうふうにも思ってます。以上です。

○上村真造委員長 一応、それぞれの会派で御意見をいただいて、本日いただいた意見をそれぞれの会派別にもうこれ列記しかないんでね。答えがないんで列記をさせていただきます。それを、次回お示ししたいと思いますがよろしいでしょうか。小原委員何か御意見が。

- 小原明大委員 いやいや。そうですね、前回と同じような結果になりそうな気はしてるんですけど、どうですかね。提案されてた趣旨としては、もうちょっと議会として詰めてほしいみたいな提案の趣旨やったような気もしますんで、各会派の意見を列記して、こうですっていうのを出してもいいんですけど、なんだかこの議運なりなんなりで調査研究がされることも大事なのかなと思ひまして、ちょっと今どうしたらええっていうのはよう言わんのですけど。
- 上村真造委員長 スケジュール的なこともあるんで、これに関してそんなに時間が取れないのも事実ですしね、大事なことは大事なことで十分理解はしてるんですけども、やはり一番当初に出てきた7つか8つかの項目をやっていかなあかんので、6つか。今回いろいろ御意見をいただいて列記して次回でほぼほぼ議会としての答えっていうのかな。こういう意見が出てるってことですね。しか答えはないんでね。それでいきたいと思ひますけども。
- 進藤裕之委員 やはり、各会派の皆さんの御意見っていう形のを今この場で聞いただけなんで、列記していただいたものをつくっていただくのは、本当これ必要やと思ひますので。あと、三木委員言われてた資料的なもんも含めて、やはり委員間同士の論議ちゅうものがまだできてない状況の中で急がなあかんっていうか、まあ、スケジュールつくっていただいでる中でいくと中々ハードなタイミングなのでこの項目、議会活動の基盤についてっていうのは同時並行で進めるっていうことも視野に入れた中で、少し時間が必要かなとも思うんですね。で、といいつつも我々の任期も来年の10月までっていうとこととで言う今年中ぐらひはひとつのあれなんかなっていう。この2番についてはやはりもうちょっと論議を深めていきたいなっていうふうに私は思ひますので、ぜひそういう形で進めていただければなということ要望したいなと。
- 上村真造委員長 それではもう次回、一応今るる出た分をお示ししたいと思ひますがよろしいでしょうか。
- 進藤裕之委員 それとあの、各委員の皆さんでそんな資料をもしお持ちやったら一度事務局にこんなんありますっていうて。出していただけるんでしたら。
- 上村真造委員長 そしたら委員の皆さんもいろんな資料があれば他市で。
- 進藤裕之委員 で、結構ねこれいろんな大学で公共政策やってるところがまとめたようなやつをね、例えば学生だけのやつっていうのも聞こえはあんまり参考にならないかもわからないですけど、やっぱり教授が入っていろいろやってて、まとめて

るもんいろいろ出てますので我々もちょっといろいろ調べた上でまた事務局のほうにも提案させていただいて。そんなんもちょっと論議の参考に。

○上村真造委員長 今、御意見出ましたような資料をお示ししたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

○上村真造委員長 異議なしと認めそのようにします。小原委員。

○小原明大委員 済みません。列記するのに当って共産党なにも言うてないので基本的に3つとも現状ベースでというのが意見です。

○上村真造委員長 議会の条例、規則等に関する事項について本日は、この程度とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

○上村真造委員長 異議なしと認めます。

【略】